

全国書店員が選んだ

いちばん！

売りたい本



2019年本屋大賞

# 本屋大賞

## ノミネート作品発表

書籍名五十音順

『愛なき世界』

三浦しをん◆中央公論新社

『ある男』

平野啓一郎◆文藝春秋

『さざなみのよる』

木皿泉◆河出書房新社

『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ◆文藝春秋

『熱帯』

森見登美彦◆文藝春秋

『ひと』

小野寺史宜◆祥伝社

『ひとつつむぎの手』

知念実希人◆新潮社

『火のないところに煙は』

芦沢央◆新潮社

『フリーガはユーガ』

伊坂幸太郎◆実業之日本社

『ベルリンは晴れているか』

深緑野分◆筑摩書房

本屋大賞とは、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。一次投票の結果、上位10作品が二次投票ノミネート作品と決定しました。今後このノミネート作品を対象に二次投票を実施し、4月に「本屋大賞」を発表します。対象は17年12月1日から18年11月30日の間に刊行された(奥付に準拠)日本の小説(判型問わずオリジナルの小説)

Supported by

NOLTY® PAGEM  
ノルティ ペイジェム

手帳ブランドNOLTY / PAGEMは本屋大賞に協賛し、応援しています。